

VMware vSphere Replication 8.2.1 リリース ノート

🔍 | テキストのみ | 💬 フィードバック

🔗 共有

📅 更新日 2021年08月30日

VMware vSphere Replication 8.3.1.2 | 2021 年 2 月 XX 日 | ビルド 17484773 | [ダウンロード](#)

VMware vSphere Replication 8.2.1 | 2020 年 10 月 29 日 | ビルド 17079075 | [ダウンロード](#)

これらのリリース ノートへの追加や更新を確認してください。

vSphere Replication 8.2.1.x パッチ リリースの詳細については、対応するセクションを参照してください。

- [vSphere Replication 8.2.1.1 Express Patch Release](#)

リリース ノートの概要

これらのリリース ノートの内容は次のとおりです。

- [ローカライズ](#)
- [新機能](#)
- [製品のドキュメント](#)
- [インストール手順](#)
- [vSphere Replication のアップグレード](#)
- [vSphere Replication の操作上の制限](#)
- [オープン ソースのコンポーネント](#)
- [注意と制限](#)
- [利用可能なパッチ リリース](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

ローカライズ

VMware vSphere Replication 8.2.1 は、次の言語で使用可能です。

- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- 韓国語
- スペイン語
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語

新機能

VMware vSphere Replication 8.2.1 は、バグ修正およびセキュリティ修正を提供します。

製品のドキュメント

現在のリリース ノートに加え、vSphere Replication 8.2 のドキュメント セットには、次の配布ファイルが含まれています。

- [vSphere Replication 8.2 ドキュメント センター](#)
- [vSphere Replication 8.2.x 互換性マトリックス](#)

インストール手順

vSphere Replication の **.iso** イメージをダウンロードしてマウントします。vSphere Replication アプライアンスは、vSphere Web Client または vSphere Client の OVF デプロイ ウィザードを使用してデプロイできます。**.iso** イメージの **\bin** ディレクトリに移動し、対応する OVF ファイルを使用します。

1. **vSphere_Replication_OVF10.ovf**：このファイルは、vSphere Replication Management Server、vSphere Replication サーバを含むすべての vSphere Replication コンポーネントのインストールに使用します。
2. **vSphere_Replication_AddOn_OVF10.ovf**：このファイルは、オプションの vSphere Replication サーバの追加インストールに使用します。

インストールの詳細については、「[vSphere Replication ドキュメント センター](#)」の「vSphere Replication のインストール」のセクションを参照してください。

vCenter Server から vCenter Server へのレプリケーションの場合は、ソース サイトとターゲット サイトの vSphere Replication 管理サーバのバージョンを 8.1 または 8.2.x のいずれかにすることができます。

vSphere Replication のアップグレード

vSphere Replication 6.5.x、8.1.1 と 8.1.2 を vSphere Replication 8.2.x にアップデートする唯一の方法は、ダウンロード可能な ISO イメージを使用する方法です。

vSphere Replication アプライアンスの VAMI から公式の VMware Update Repository を使用して、vSphere Replication をバージョン 6.5.1 からバージョン 8.2.x にアップグレードすることはできません。サポート対象バージョンの詳細については、「[互換性マトリックス](#)」を参照してください。

重要: アップグレードを開始する前に、vSphere Replication アプライアンスに OVF 環境（コンテキスト）があることを確認します。「[Checking and Restoring the OVF Context of the vSphere Replication Appliance \(2106709\)](#)」を参照してください。

「[既知の問題](#)」の「アップグレード」と「全般」のセクションを参照したことを確認してください。

vSphere Replication 8.2.x へのアップグレード手順については、「[追加の vSphere Replication サーバのアップグレード](#)」および「[vSphere Replication アプライアンスのアップグレード](#)」を参照してください。

vSphere Replication の操作上の制限

vSphere Replication 8.2.x の操作上の制限については、VMware のナレッジベースの記事を参照してください。「[Operational Limits for vSphere Replication 6.x and 8.x \(KB 2102453\)](#)」を参照してください。

注意： vSphere Replication では、vSphere Replication Management サーバ 1 台につき 500 台を超えるレプリケーションをサポートするために、追加の構成が必要です。「[Operational Limits for vSphere Replication 6.x and 8.x](#)」および「[Configuring Upgraded vSphere Replication Appliances to Support up to 2000 Replications](#)」を参照してください。

オープン ソースのコンポーネント

vSphere Replication 8.2.1 で配布されるオープン ソース ソフトウェア コンポーネントに適用される著作権に関する記述とライセンスは、「[vSphere Replication オープン ソースの公開](#)」ページにあります。

vSphere Replication 8.2.1 の注意と制限

仮想マシンのレプリケーションを正常に完了するには、レプリケーションを開始する前に、仮想インフラストラクチャが一定の制限を満たしていることを確認する必要があります。

- vSphere Replication 8.2.1 は、VMware vSphere の仮想 NVMe (vNVMe) 機能をサポートしていません。
- Platform Services Controller をカスタム ポートを使用してインストールすると、vSphere Replication アプライアンスの設定ができません。
- 5 分間の RPO は、臨時 VVOL データストア上の仮想マシンに、サポート上限である 50 台まで適用されます。
- vSphere Replication では、Virtual Volumes 上での VSS 静止をサポートしていません。
- vSphere Replication は、vmdk ファイルを共有する仮想マシンをレプリケートすることはできません。
- vSphere Replication では、ソース サイトとターゲット サイトの両方で vSphere APIs for IO Filtering をサポートしていません。IO フィルタを含む仮想マシン ストレージ ポリシーが割り当てられた仮想マシンをレプリケートすることも、そのようなポリシーをレプリケーション ターゲット仮想マシンに割り当てることもできません。レプリケーション用に仮想マシンを構成する前に、割り当てられた仮想マシン ストレージ ポリシーに IO フィルタが含まれていないことを確認します。IO フィルタが含まれている仮想マシン ストレージ ポリシーを、すでにレプリケーション用に構成されている仮想マシンに割り当てないでください。
- 複数の vSphere Replication アプライアンスをデプロイした場合、起動画面に警告が表示されます。ユーザーは、続行してすべてのレプリケーションを再構成するか、旧アプライアンスの妨げにならないように新しいアプライアンスをシャットダウンする必要があります。複数の vSphere Replication サーバをデプロイした場合、この状況は発生しません。
- 各 vSphere Replication Management Server で管理できるレプリケートされた仮想マシンは最大 2000 台です。「[Configuring Upgraded vSphere Replication Appliances to Support up to 2000 Replications \(KB 2102463\)](#)」および「[Requirements to the Environment...\(KB 2107869\)](#)」を参照してください。
- vSphere Replication は、62 TB の最大ディスク容量をサポートします。62 TB を超えるディスクのある仮想マシンでレプリケーションを有効にしようとすると、その仮想マシンではレプリケーション操作は実行されず、パワーオンできなくなります。
- vSphere Replication は、2 TB を超えるディスクではより大きいブロックを追跡します。2 TB を超えるディスクのレプリケーション パフォーマンスは、同じワークロードの 2 TB 未満のディスクのレプリケーション パフォーマンスとは異なる可能性があります。これは、変更された特定のブロックに対してネットワーク上で通信されるディスクの量に依存します。
- vSphere Replication は vSphere Replication アプライアンスでの VMware Tools パッケージのアップグレードをサポートしません。
- vSphere Replication は、仮想互換モードで RDM のレプリケーションをサポートします。物理互換モードで RDM にレプリケーションを構成することはできません。
- vSphere Replication は、ターゲット サイトの仮想マシンのスナップショットの階層をレプリケートしません。
- パワーオフされた仮想マシンにレプリケーションを構成できます。ただし、実際のレプリケーション トラフィックは仮想マシンがパワーオンされたときに

- レプリケーション サイトで Storage DRS を使用する場合は、リソースを消費するホスト間の移動（ホストとデータストア両方の変更）が Storage DRS で実行されないように、同種のホストとデータストア接続を設定しているか確認します。
- VMware vCloud Availability for vCloud Director の場合、シード vApp は 1 つのレプリケーションに対してのみ使用できます。
- 5 分間の目標復旧ポイント (RPO) を使用するには、vSAN の場合は ESXi 6.0 Update 3 以降、その他のサポート対象データストアの場合は ESXi 6.5 のソース ホストが必要です。
- vSphere Replication でネットワーク分離機能を使用するには、ホストが ESXi 6.0 以降であることが必要です。

サポートされるブラウザのバージョン

vSphere Web Client および vSphere Client でサポートされるブラウザのバージョンについては、使用している vSphere Web Client または vSphere Client のドキュメントを参照してください。

利用可能なパッチ リリース

vSphere Replication 8.2.1.1 Express Patch Release

2021 年 2 月 11 日リリース | ビルド 17484773

vSphere Replication 8.2.1.1 Express Patch Release は、重要なセキュリティ修正を提供します。

インストールとアップグレードに関する注記

vSphere Replication のアップグレード手順については、『*vSphere Replication 8.2 の管理*』の「[vSphere Replication のアップグレード](#)」を参照してください。

解決した問題

- vSphere Replication サーバが未接続の状態になる**

SSL 証明書を置き換えた後、組み込みの vSphere Replication サーバが **Not Connected** の状態になることがあります。これは、vSphere Replication 管理サーバのサムプリントが vSphere Replication 管理サーバ データベースと組み込みの vSphere Replication サーバ データベースで一致していないことが原因である可能性があります。

この問題は vSphere Replication 8.2.1 で解決されています。
- レプリケーションの構成が「操作に失敗しました」エラーで失敗する**

ターゲットの vCenter Server へのレプリケーションの構成が失敗し、次のエラーが表示されます。

操作に失敗しました。vSphere Replication Management Server で一般エラーが発生しました。例外の詳細：「予期しないステータス コード：503」。

回避策：この問題は vSphere Replication 8.2.1 で修正されています。

以前のリリースからの既知の問題

以前からの既知の問題のリストを表示するには、[ここ](#)をクリックします。



企業情報

VMware について

エグゼクティブ マネジメント チーム

自社環境における VMware 製品の活用

ニュースと記事

投資家向け情報

お客様事例

VMware の製品とサービス

VMware の AI

採用情報

ブログ

コミュニティ

買収により合併した企業

オフィス所在地

VMware Cloud Trust Center

COVID-19 関連リソース

サポート

VMware Customer Connect

サポート ポリシー


製品ドキュメント

互換性ガイド

利用条件

ハンズオン ラボと製品のご試用

 Twitter

 YouTube

 Facebook

 Instagram

 Blog

 VMware User Group

 お問い合わせ

Copyright © 2005-2024 Broadcom. All Rights Reserved. Broadcom は Broadcom Inc. および/または その子会社を指します。

利用条件

プライバシー

アクセシビリティ

商標

用語集

